

【成績調査理由 記入例】

成績調査は、シラバス等の成績評価方法と照らし合わせ、自身が基準を満たしていると考えられる場合のみ申請が可能です。申請の際は試験問題・レポート課題の内容と、それに対してどのように解答・作成したか、具体的に説明してください。

「嘆願と見受けられる・客観性に欠ける・具体性に乏しい」等、内容が不適切・不十分と判断される場合、再提出を求める場合がございます。必ず以下の良い例と悪い例を確認してからご作成ください。

悪い例

- ・私なりに一生懸命取り組んだが、D評価だった。
客観性・具体性に欠けている×
- ・学期末の試験において、7割以上の成績を収めた自信があるがD評価だった。
根拠がない×
- ・講義で紹介されていた文献を参考にレポートを作成したが、評価が低かった。
文献名が記載されていない×
レポートのテーマ・概要が説明されていない×
- ・試験が何点だったか知りたい。
試験やレポートの点数を知るための手段ではありません×
- ・評価が不合格であった理由を知りたい。
不合格であった理由を知るための手段ではありません×
- ・友人が単位を修得できたのに、自身が不合格であったため申請した。
客観性・具体性に欠けている×

良い例

【レポートの場合】

この講義は「出席 50%、期末レポート 50%」の評価方法である。全 14 回中、13 回の講義に出席し、課されたレポートについても 1000 字以上という文字数設定に対し、1200 字で期限内に提出した。

客観的な事実、具体的な文字数が記載されている◎

内容としては、「著作権に対する現状課題を述べよ」というテーマに対し、「ネット上での無断転載」という観点から、与えられた参考文献(法政一郎著「繰り返される著作権侵害」、法政花子著「著作権法の原理」)や講義内容をもとに作成した。

レポートのテーマ・内容について具体的に説明している◎

【試験の場合】

この講義は「出席 50%、期末試験 50%」の評価方法であり、全 14 回中、13 回の講義に出席した。
客観的な事実が記載されている◎

期末試験では「著作権に対する現状課題を述べよ」という問題に対し、「ネット上での無断転載」という観点から、与えられた参考文献(法政一郎著「繰り返される著作権侵害」、法政花子著「著作権法の原理」)の内容や講義内容をもとに解答した。

試験の問題に対し、どのように解答したかを具体的に説明している◎